

「おやこでいもほりたいけん」の実施

○ 玉城町では、家庭やボランティア等の食育機能の低下に伴う課題等を踏まえ、令和4年3月に「健康たまき21（健康増進計画・第3次食育推進計画）」を策定し、住民一人ひとりが、食に対する正しい知識と判断力を持ち、適切な食生活を生涯にわたって自ら実践できる力を身につけることとし、「食を通じた健康で豊かな暮らしができるまちづくり」を目指している。

○ 地域の農業者指導の下、子どもや若い世代を中心とする市民に対して、いもほり体験を実施し、農産物を収穫し、それを食べることで食生活を大切にする意識や食べ物への関心につなげた。

三重県



玉城町

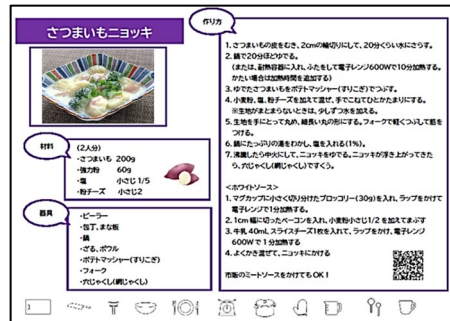
【取組の内容】

○ 「おやこでいもほりたいけん」の実施

子どもや若い世代を中心とする各世代を対象に「おやこでいもほりたいけん」と称し、いもほり体験イベントを開催した。

町内保育所、小学校を通じて案内チラシを配布した結果、保護者48名、児童52名の計100名が参加する取り組みとなった。

いもほり体験終了後には、三重大学教育部教授監修のサツマイモ料理レシピを配布し、収穫したサツマイモのおいしい食べ方を提案した。



（「おやこでいもほりたいけん」の様子）（サツマイモ料理レシピ）

【取組の成果】

○ 「おやこでいもほりたいけん」実施

イベント実施後のアンケートでは「自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった」や「これからは地元産や国産の食事を積極的に選ぶようになるようになった」などの意見があり、参加者の食生活を大切にする意識の向上や農業への関心につながった。

① 農林漁業体験を経験した者の増加割合または延べ人数
事業実施前 63名
→事業実施後 163名

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前 74.8%
→事業実施後 92.4%

